

和洋女子大の学生たち 市川駅南口図書館と Web で



企画展をアピールする鳥飼さん(右)と清水さん

知識も活用して選定。作品を読み込んだ後、現地確認も行った。参加した清水理子さん(3年)は「新選組副長の土方歳三や平将門などの市川への関わりや市川を取り上げる作家が想像以上に多く、驚いた。皆さんの市川についての興味、再発見につながったらう

れしい」と話した。同じく鳥飼理乃さん(2年)は「前回の中高生にお勧めする本の企画展で達成感を感じ、またチャレンジした。歴史やミステリー、ポップカルチャーなど幅広く取り上げているので、コロナが収束したら現地に行くなど、心と体の健康にも役立ててもらえたらうれしい」と願っていた。

和洋女子大は、市川駅とパンフレットで市が登場する文学作品は、比較的年齢の高いや、映画・ドラマ・コミック・アニメなどのポップカルチャー作品の『燃えよ剣』、内田康夫を紹介する企画展「市川駅南口図書館(JR市川文学散歩)」を、市川駅直結の『1Q84』、テレビアニメ『名探偵コナンスペシャルドラマ工藤新一京都新撰組殺人事件』など5作品を紹介している。会期は未定。

同大日本文学文化学科の学生有志11人が、作品と発信方法の検討と選定、ポップとマップ、パンフレット、ウェブサイトの制作などに取り組んだ。同図書

ができる中、学生たちはインターネットツールを活用して取り組んできた。作品は、大学の授業や図書館のデータベースに加え、インターネットや学生の